

第13回土佐さがのもどりガツオ祭

カツオの水揚げ量県下一を誇る黒潮町佐賀で「第13回土佐さがのもどりガツオ祭」が10月15日に開催されました。今年も黒潮一番館前の広場から佐賀新港に場所を移しての開催となり、去年の入場者数約12000人を大幅に上回る約15000人が来場しました。

もどりガツオ祭は漁師のおかみさんたちが、1年の豊漁と海上安全を感謝する気持ちから平成16年、黒潮一番館の開館1周年を期に始まりました。

今年も幡多地域から集まった飲食店や工芸品店が多数出店し、会場内で豪快にタタキを焼く光景に来場者は足を止め見ていました。また、毎年好評のカツオの1本売り、カツオ御膳の販売所では買い求める人で長い列ができていました。

特設ステージでは、

佐賀保育所の園児によるパラバルーン、よさこい鳴子踊りが披露さ



1 新鮮なカツオが沢山用意されました。
2 カツオの1本釣りゲーム(大人の部)。
3 毎年恒例のカツオの1本釣りゲーム(子ども部)。
4 会場内でのカツオのわら焼きタタキは絶品でした。
5 カツオの1本売りも大盛況でした。

れました。そのほかカツオのタタキ井に熱いお湯をかけて食べる「旨いもの早食い競争」や、1本釣りゲームでは今年も大人の部も開催され、釣り場までシーカヤックを漕いで移動し、カツオを釣って戻ってくるレース形式で行われました。

来年も盛り沢山の内容で開催予定です。黒潮町をアピールするイベントになるよう、町民の皆さんで盛り上げていけたらと思っています。

第15回あつまれ魂拓人

11月12日、佐賀中学校体育館で第15回あつまれ魂拓人が開催されました。

あつまれ魂拓人は、祖先が今まで残してきた差別や偏見を、自分たちが責任を持って無くしていくことを目的にはじまったイベントです。毎年8月に黒潮一番館前で開催されていましたが、今年も時期・場所を移動しての開催となりました。また今年の開催で最後ということもあり、町内からたくさんの方が来場しました。

イベントでは、佐賀中学校吹奏楽部の演奏に始まり、和太鼓「SIN NABURA」や「ルアナ」と楽しい仲間たちによるフラダンス、「幡多舞人」によるよさこい踊りが披露されました。佐賀中学校の生徒からは自分たちが産まれた時にはじまった、このイベント



1 ライブのフィナーレ「人の値打ち音頭」
2 大方中学校吹奏楽部
3 人権ウルトライクイズの決勝戦。
4 幡多舞人による「よさこい踊り」
5 大接戦のリンボー選手権

が無くなる事はとても寂しいという声もありました。

そのほか、毎年恒例の人権ウルトライクイズ、リンボー選手権「THE LINBO」では参加者・観客ともに大いに盛り上がりました。イベントの後半は、窪川高校軽音楽部とイベント主催者である森秀一さんによるライブがあり、心のもった歌に観客は魅了されました。そして、ラストソングは、参加者も一緒に輪になって「人の値打ち音頭」を踊りました。お楽しみ抽選会も行われ、イベント最後には土佐西南大規模公園、佐賀地区東公園から打ち上げ花火も上がり、15年間という長い歴史に幕を閉じました。

